

# HTMLファイルのしくみと 作り方

Webサイトの作成

シンプルでプレーンなページを作成しましょう

# HTMLファイルの構造

## ①htmlの宣言

最初に宣言

## ②htmlタグ

この間がHTML文書

## ③head部

文書の情報を記載

## ④body部

画面に表示する本文

```
<!DOCTYPE html> ①
<html> ②
  <head> ③
    <meta charset="utf-8">
    <title></title>
    <link rel="stylesheet" href="">
  </head>
  <body> ④
    </body>
</html>
```

# ①htmlの宣言②htmlタグ

## ①htmlの宣言

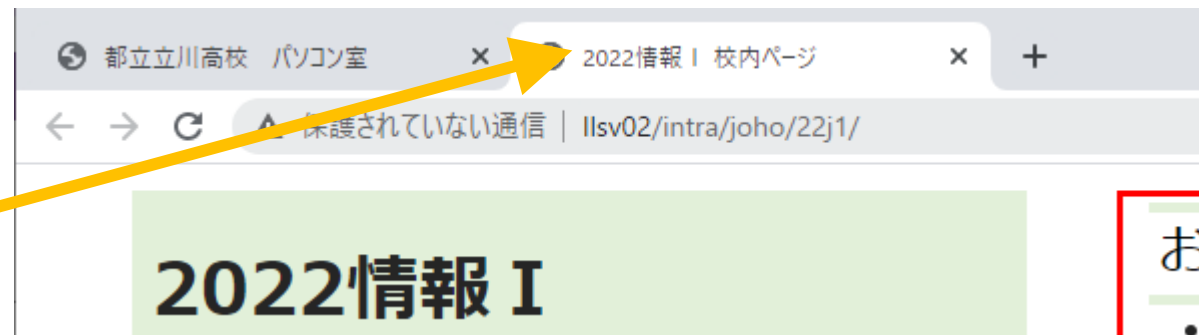
1行目に常に書く

## ②htmlタグ

このタグの間にHTMLで記述する

# ③head部

- 文書の情報を記載する
- 文字コード体系の宣言  
`<meta charset="utf-8">`
- タイトルタグ  
`<title>タイトル</title>`
  - ここに表示される
- 利用するスタイルシートの指定  
`<link rel="stylesheet" href="ファイル名">`
  - ファイル名を適切に指定する



## ④body部

- ページの本体
  - 文章を入力しタグをつける
    - タグなしでも文字は表示できるが不適切
    - 基本的に文字は左寄せ
    - タグは文章の意味づけに使い装飾に使わない
  - 画像表示、ハイパーリンクをタグで指定する
  - 見栄えはCSSで指定する

# HTML CheatSheet

- hタグ:見出し
  - h1~h6
  - <h1>ページ内唯一の大見出し</h1>
  - <h2>中見出し</h2>
- pタグ:段落
  - <p>ページ内の文章は原則pタグをつける</p>
  - <p>段落が変われば新たなpタグをつける</p>
- ulタグ・olタグ:箇条書きの宣言
- liタグ:箇条書きの項目
  - <ul>
  - <li>箇条書きの項目1</li>
  - <li>箇条書きの項目2</li>
  - </ul>
- aタグ:ハイパーリンク
  - <a href="URL">表示名</a>
  - 自作ページの場合はURLでなくファイル名
- imgタグ:画像表示
  - 
  - 閉じタグなし
  - 自作ページの場合はURLでなくファイル名
- この他のタグも利用して良いが、利用しない方が良いタグもあるので注意

# スタイルシート

- 配布した `style.css` を使う場合
  - 自作のスタイルシートを利用してもよい
- それぞれの要素の説明を参考に修正
  - 色の指定: 16進法または色名
  - 間隔やサイズ: ピクセル単位で指定
  - 文字の大きさ: 元の文字との相対的なサイズ(em)で指定
- 1カ所修正したら確認 → 確認できたら次の修正
- グループで一つ作り、メンバーで共有

# 提出フォルダに置くファイル

- 提出フォルダに置くべきファイル
  - index.html(扉のページ:必須)
  - style.css(ファイル名は変えても良い:グループで一つ)
  - 各ページのファイル.html(最低3ページ)
  - 画像ファイル.jpg(必要数)
  - 画像ファイル.png(必要数)
- 注意
  - ファイル名は半角英数文字
  - フォルダを作らない方が便利




# タグの使い方例

## • bodyタグ内のサンプル

```
<body>  
  <h1>サイトのタイトル</h1>  
  <h2>サブタイトル</h2>  
  <p>説明文</p>  
    
  <h3>項目見出し1</h3>  
  <p>説明文</p>  
  <a href="リンク先のファイル名">リンクのタイトル1</a>  
  <h3>項目見出し2</h3>  
  <p>説明文</p>  
  <a href="リンク先のファイル名">リンクのタイトル2</a>  
</body>
```

## • 表示サンプル

サイトのタイトル  
サブタイトル  
説明文  
  
項目見出し1  
説明文  
[リンクのタイトル1](#)  
項目見出し2  
説明文  
[リンクのタイトル2](#)